

⑪ 西猪名公園 (にしいなこうえん)

1.公園概要

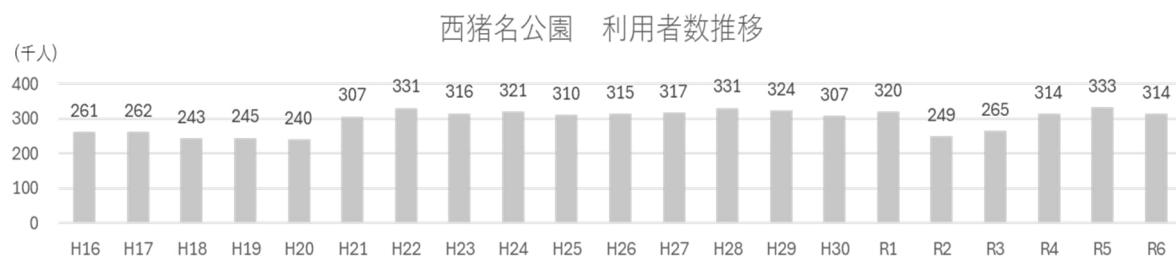
公園名	西猪名公園
開設年月日	昭和 57 (1982) 年 4 月 8 日
面 積	計画面積：6.0ha 開園面積：6.0ha
公園種別	地区公園
主な施設	ウォーターランド、テニスコート、球技場、多目的広場、展望広場、中央広場

西猪名公園は、JR 北伊丹駅前に位置し、伊丹空港周辺の環境整備のため、国が取得した土地を県が借り受け、県立都市公園として整備した地区公園である。

園内には、夜間照明を備えた球技場やテニスコートのほか、夏場に水遊びができるウォーターランドがあり、休養やスポーツの場として多くの人々が利用している。

2.利用者数推移

平成 21 年度以降、利用者数は 320 千人前後で推移してきた。令和 2 年度はコロナ禍の影響により一時的に利用者数が減少したが、その後は回復し、令和 5 年度には過去最大である 333 千人となった。



3.施設配置図



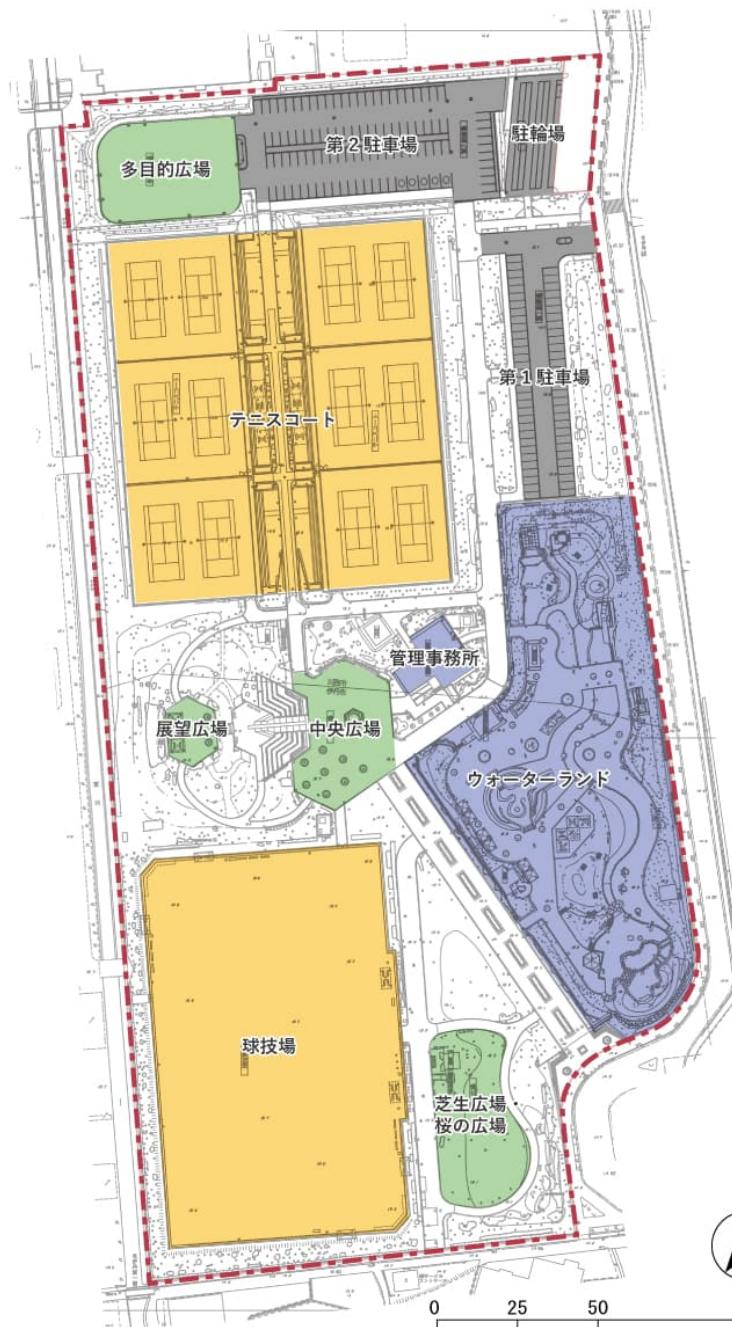
ウォーターランド



球技場



テニスコート



中央広場



展望広場

4.成り立ち

公園名	時 期										これから R8 兵庫県立都市公園の 整備・管理運営基本計 画(2026~2035) 西猪名公園リノベーション計 画
	戦後復興及び高度経済成長		都市拡大とバブル景気		阪神淡路大震災以降						
	S20 S30 S40 S45 S50 S55	S60 H2 H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3			
<pre> graph LR A[緑の回廊計画] --> B[全県全土公園化構想] B --> C[兵庫県グリーンフェニックス計画] C --> D[兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針] D --> E[兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画] E --> F[西猪名公園リノベーション計画] </pre>											
西猪名 公園	取組み概要		空港周辺の環境整備 阪神間地域におけるレクリエーション需要に応じた施設整備								共創の促進
	整 備	S49:大阪国際空港周辺整備計画の策定									
		S51~54:運輸省による工場跡地の取得			S57:開園 伊丹空港周辺の環境整備事業の一環としての整備						
	H6:駐車場追加開園										<ul style="list-style-type: none"> ○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施 ○ウォーターランドのリニューアル ○協議会のさらなる充実
	管理・運営										R5:管理運営 協議会開始

⑫ 舞子公園 (まいここうえん)

1. 公園概要

公園名	舞子公園
開設年月日	明治 33 (1900) 年 7 月 25 日
面 積	計画面積：6.6ha 開園面積：7.8ha
公園種別	特殊公園(風致公園)
主な施設	孫文記念館(移情閣)、旧木下家住宅、 旧武藤山治邸、舞子海上プロムナード、舞子デッキ、根上がりの松モニュメント、明治天皇歌碑、橋の科学館

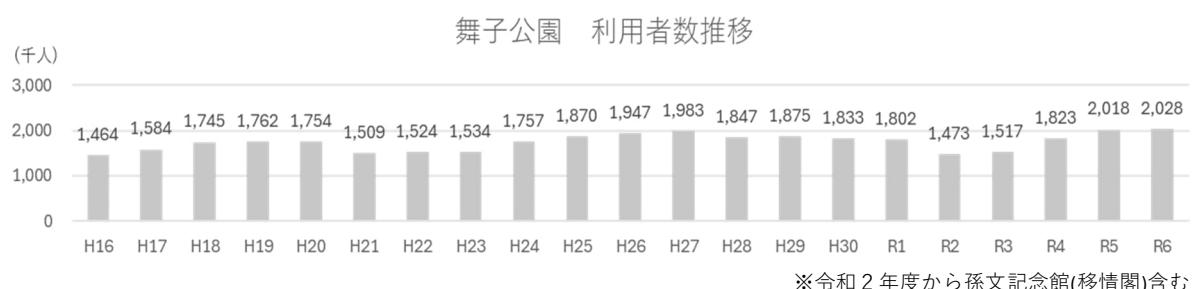
舞子公園は、太政官布達第16号に基づく地盤国有公園として明治33年(1900年)に開設した県立都市公園第1号である。

舞子海岸は、明石海峡を望む白砂青松の景勝地として旅館、別荘が建ち並び賑わいを見せたが、戦後の都市化により往事の賑わいは失われ、公園の松林にのみ面影を残していた。しかし、明石海峡大橋の開通を機に大幅に区域を見直し、雄大な海峡風景を望む 21 世紀の兵庫・神戸を代表する景勝地として蘇り、国内外から多くの観光客が訪れるようになった。

公園には、往事の賑わいを今に伝える明治期の西洋館「旧武藤家別邸洋館（旧武藤山治邸）（国登録文化財）」、大正期の「移情閣（国指定重要文化財）」、昭和戦前期の「旧木下家住宅（国登録文化財）」が公園内にあり、一般公開しているほか、各館の特性を生かしたプログラムを実施している。

2.利用者数の推移

過去 20 年の利用者数は 1,500 千人から 2,000 千人程度で推移してきた。令和 2 年・3 年度はコロナ禍により、利用者数が 1,500 千人前後まで減少したが、その後回復し、令和 5 年度には過去最多の利用者数となっている。



3.施設配置図



孫文記念館



旧木下家住宅



旧武藤山治邸



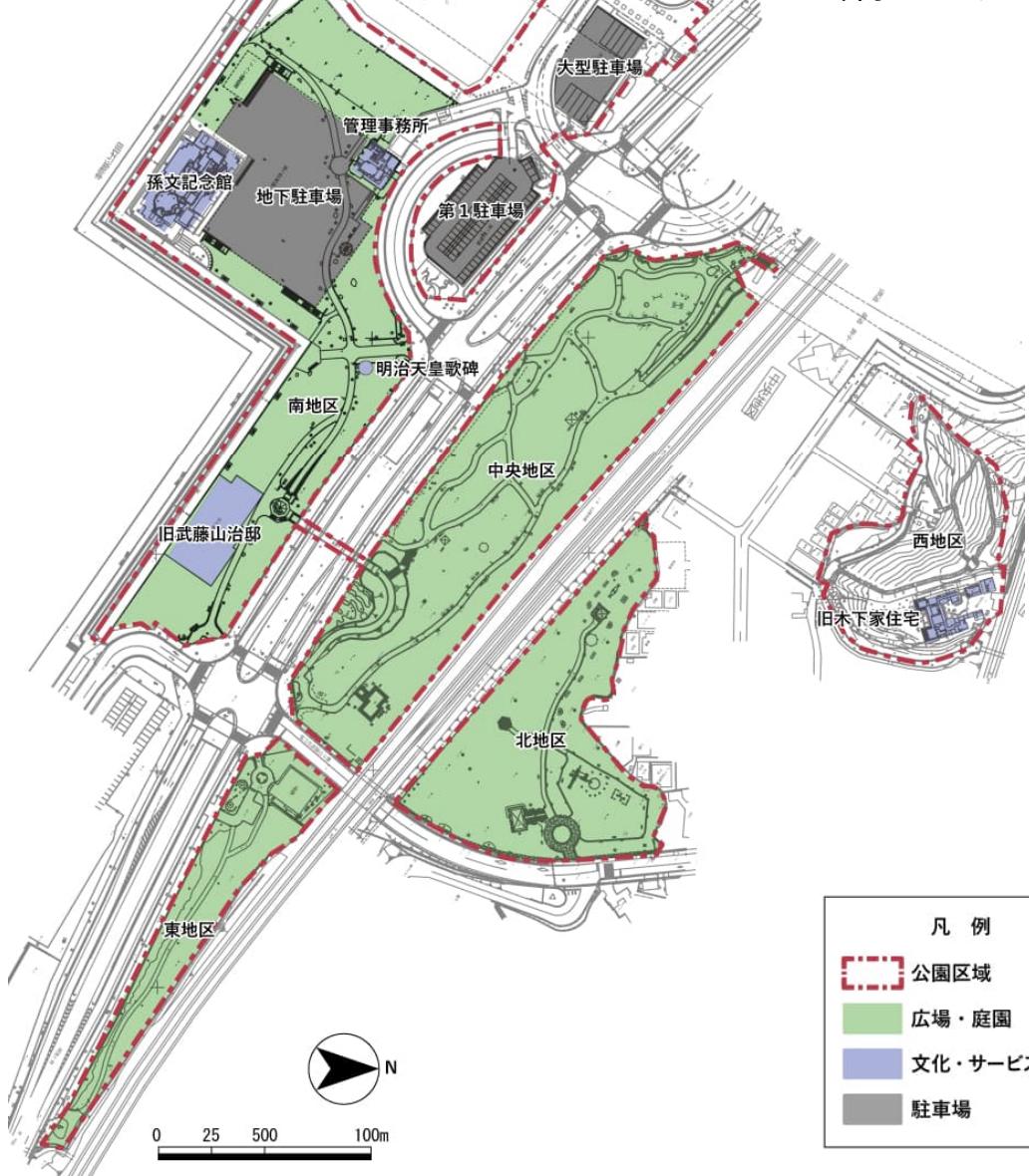
橋の科学館



舞子プロムナード



舞子プロムナード



凡 例

- 公園区域
- 広場・庭園
- 文化・サービス施設
- 駐車場

⑬ 瀨山緑地（なだやまりょくち）

1.公園概要

公園名	灘山緑地
開設年月日	平成 12 (2000) 年 3 月 18 日
面 積	計画面積：11.3ha 開園面積：11.3ha
公園種別	都市緑地
主な施設	プロムナードガーデン(庭園)、 展望デッキ



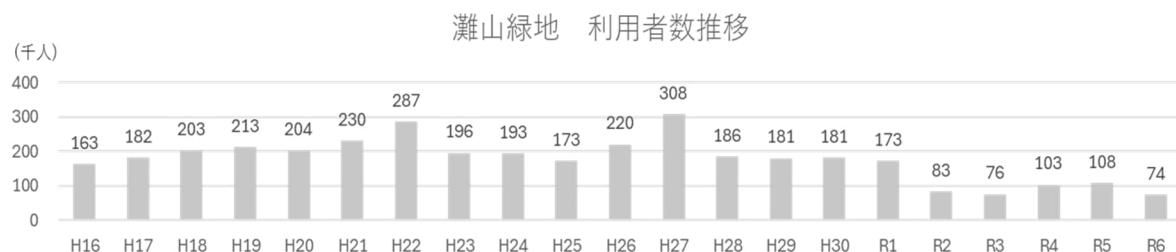
現在の淡路夢舞台、国営明石海峡公園の背面となる淡路島北端部の灘山は、関西国際空港の整備にあたり約 1 億m³もの土砂が採取され、跡地は剥き出しの岩盤法面であった。

灘山緑地は、最新の緑化技術により淡路島の自生種を中心とする 10 種類の苗木の植栽により、自然植生を回復した緑地である。

現在では緑豊かな自然林に成長し、野鳥、野ウサギ、昆虫など多くの生物が棲息するとともに、夢舞台全体の景観を形成している。本緑地の中腹には全長 380m に渡る回廊風のプロムナードガーデンがあり、国営明石海峡公園、淡路夢舞台、大阪湾を一望できるビューポイントとなっている。

2.利用者数の推移

平成 22 年度の「淡路花博 2010 花みどりフェア」、平成 27 年度の「淡路花博 2015 花みどりフェア」の開催時は 300 千人前後の利用者数となったが、R2 年度のコロナ禍以降は減少し、最近は 100 千人前後となっている。



3.施設配置図



プロムナードガーデン



展望デッキ



凡 例	
	公園区域
	広場・庭園
	文化・サービス施設

4. 成り立ち

公園名	時期										これから R8 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画(2026~2035)				
	戦後復興及び高度経済成長		都市拡大とバブル景気		阪神淡路大震災以降										
	S20	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3
											灘山緑地リノベーション計画				
灘山緑地	取組み概要		国際花博開催に併せた修景緑化の先駆的モデルとしての緑化										共創の促進		
	整備		<p>S38:灘山における土砂採取開始</p> <p>H6:土砂採取終了</p> <p>H12:開園 灘山周辺土砂採取跡地の緑の回復 淡路夢舞台地区と一体となった緑あふれる景観形成</p> <p>H10:明石海峡大橋の開通</p> <p>H12:淡路夢舞台の開園</p> <p>H12:「国際園芸・造園博「ジャパンフローラ」の開催</p> <p>H14:国営明石海峡公園開園</p> <p>H4:淡路島の玄関口としての公共的整備の要請の高まりからゴルフ場計画の中止</p> <p>H4:「淡路島国際公園都市構想」の策定</p> <p>H5:「淡路島夢舞台構想」の策定</p> <p>H21~23:間伐の実施</p> <p>H22:「淡路花博2010 花みどりフェア」の開催</p> <p>H27:「淡路花博2015 花みどりフェア」の開催</p> <p>R5:間伐の実施</p> <p>R3:「淡路花博2021 花みどりフェア」の開催</p> <p>R7:「淡路花博2025 花みどりフェア」の開催</p>									○森林の適切な管理			
	管理・運営		H18:指定管理開始(非公募)										○管理運営協議会設置		

⑯ 尼崎の森中央緑地（あまがさきのもりちゅうおうりょくち）

1.公園概要

公園名	尼崎の森中央緑地
開設年月日	平成 18（2006）年 5 月 31 日
面 積	計画面積：18.9ha 開園面積：18.9ha
公園種別	都市緑地
主な施設	尼崎スポーツの森（屋内プール、屋外プール（夏季）、アイススケート（冬季）、フィットネス施設、多目的ドーム、フットサル、森のこども広場（室内遊具）、芝生広場、パークセンター、育苗施設、作業棟、茅葺き民家



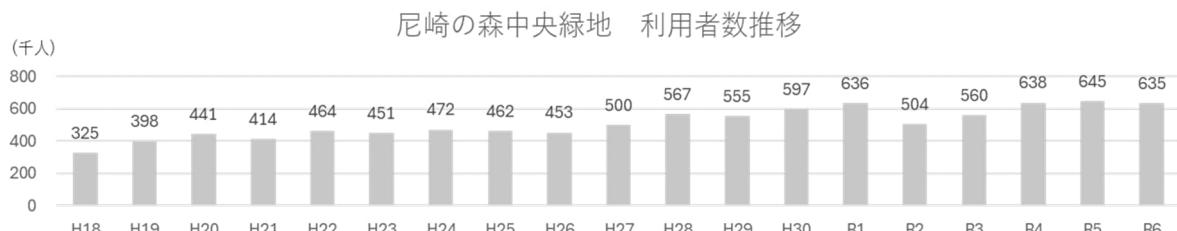
尼崎の森中央緑地は、森と水と人が共生する環境創造のまちづくりを目指し平成14年に策定した「尼崎21世紀の森構想」の先導中核拠点として、工場跡地に100年の森を創造するプロジェクトである。

森づくりは、生物多様性の3原則である遺伝子、種、生態の多様性をもとに、尼崎に注ぐ河川流域の種子から、参画と協働により園内で苗を育て、300種12万本を植樹する壮大な計画である。

また、公園の一画には、水泳、スケート、フットサル等の複合運動施設である尼崎スポーツの森を開設している。平成26年に公園の森づくりの活動拠点となるパークセンター、平成27年に県立都市公園で最大規模の大芝生広場が完成し、平成30年には茅葺き民家の移設を行い、小学生を対象とした環境学習、企業等による植樹活動、イベント開催など多様な利用が行われている。

2.利用者数の推移

開園以来、利用者数は増加傾向で推移してきた。コロナ禍であった令和2年度には利用者数が減少したものの、令和3年度以降は回復し、最近は640千人程度で推移している。



3.施設配置図



フットサルパーク



屋外プール（アマラーゴ）



屋内プール（50m プール）



みなのはな野

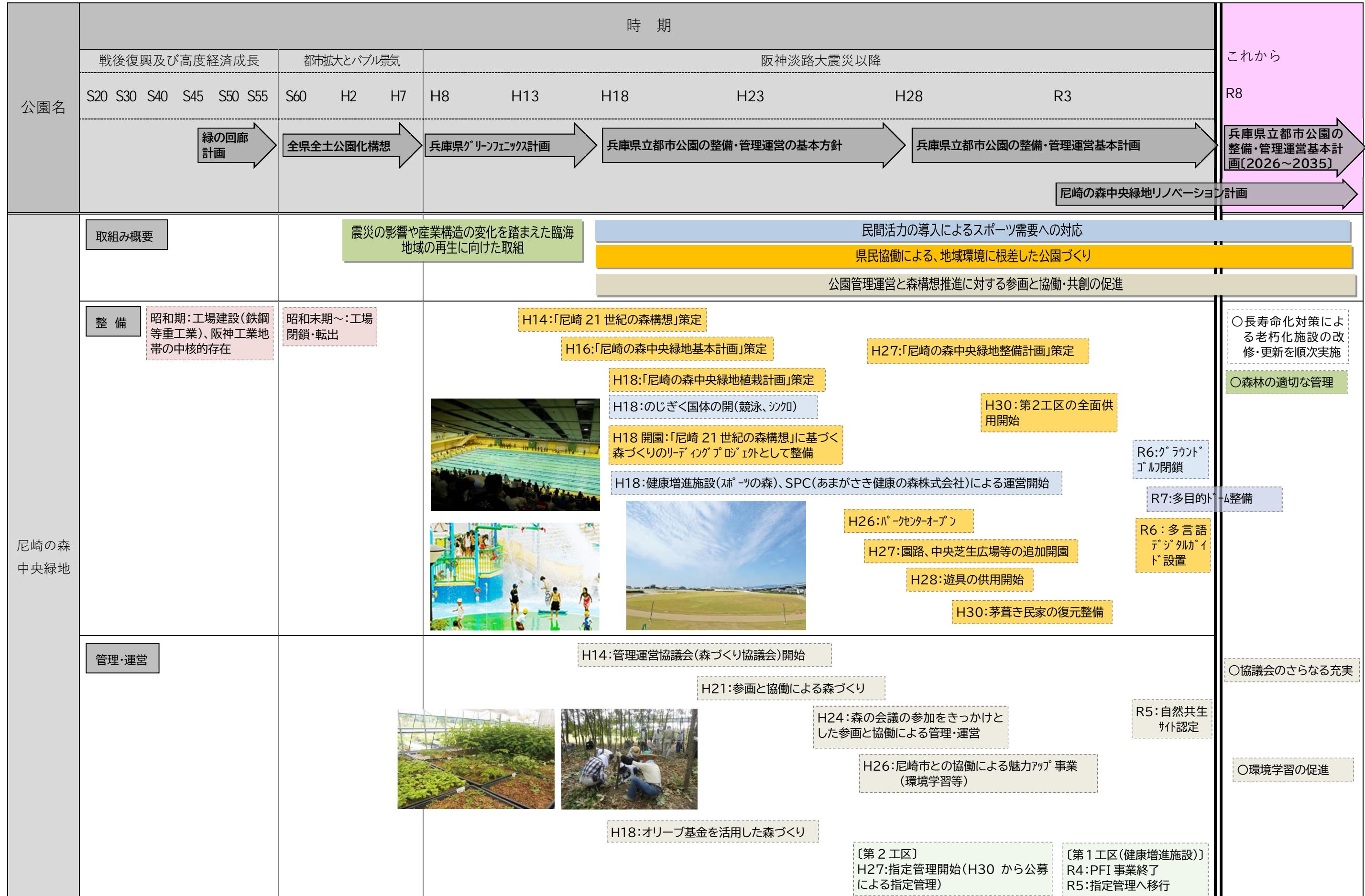


大芝生広場



はじまりの森

4. 成り立ち



⑯ あわじ石の寝屋緑地（あわじいしのねやりょくち）

1.公園概要

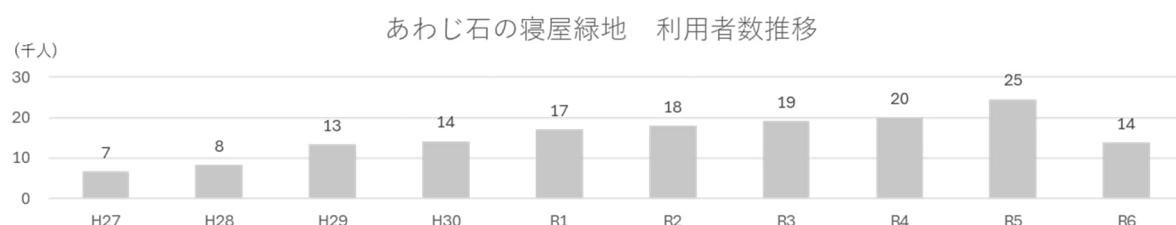
公園名	あわじ石の寝屋緑地
開設年月日	平成 27 (2015) 年 4 月 1 日
面 積	計画面積：75.4ha 開園面積：37.5ha
公園種別	都市緑地
主な施設	園路、森の広場、展望台、いきものたんぼ、トイレ、四阿、水飲み場、石の寝屋古墳群

明石海峡を望む淡路島北側の丘陵地にあり、明石海峡大橋周辺の緑豊かな美しい景観の保全と、絶滅危惧種の猛禽類サシバをはじめ、貴重種が棲息する自然環境の保全を目的とした都市緑地である。

園内には自然を生かした周回園路、明石海峡大橋を眼下に望む展望台があるほか、「日本書紀」の海人（あま）の男狭磯（おさし）伝説を今に伝える石の寝屋古墳群がある。

2.利用者数の推移

平成 27 年の開園以来、利用者数は増加し、令和 5 年度には過去最大の 25 千人となつたが、令和 6 年度は 14 千人に減少している。



3.施設配置図



森の広場



見上げる展望台



海峡展望台



4.成り立ち

公園名	時 期										これから R8 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画[2026~2035] あわじ石の寝屋緑地リノベーション計画
	戦後復興及び高度経済成長		都市拡大とバブル景気		阪神淡路大震災以降						
	S20 S30 S40 S45 S50 S55	S60 H2 H7	H8	H13	H18	H23	H28	R 3			
あわじ石の寝屋緑地	取組み概要										
	整 備		H6:石の寝屋地区基本構想の策定 OS62:明石海峡大橋の正面の自然の乱発防止ため用地取得		H14:基本計画策定		H20:事業再評価、基本設計の見直し		H27:開園		○森林・竹林の適切な管理 ○環境学習の取組拡大
	管理・運営						H21~22:あわじ石の寝屋緑地懇話会開催		R6:自然共生サト認定		○協議会のさらなる充実
							H24:管理運営協議会設置(淡路島公園と合同)				
							H24:「あわじ石の寝屋緑地管理運営計画」策定				
							H27:指定管理開始(R1から公募による指定管理)				